

芸振



大分県芸術文化振興会議

もくじ

会長に就任して	1	
第2回大分県民芸術文化祭・開幕行事	2	
〃	・中幕行事	2
〃	・閉幕行事	3
芸術文化フェスティバル主催行事	3	
新役員紹介	4	
〃		5
海外派遣研修報告	6	
加盟芸術文化団体の紹介	7	
事務局だより	8	

発行人：脇 正人 編集人：矢野嘉昭 (題字：牧 善博)



会長に就任して

大分県芸術文化振興会議

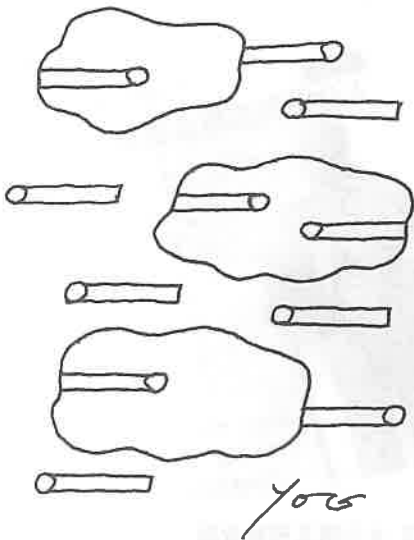
会長 脇 正人

5期10年の永きに亘り会の発展充実に務められた仲町謙吉会長がこの度勇退されました。前仲町会長の努力により芸振は現在の大きな組織に成長し、諸事業を成し遂げ文化団体としての面目躍如たるものがありました。この功績に対し、感謝を申し上げたいと思います。

さて、6月15日の総会ではからずも私が会長に推薦されました。今、改めてその責務の重大さを痛感しているところです。現在、芸振は160団体、個人会員169名の大規模な総合文化団体になっています。今後芸振の諸事業の実施や、連絡提携は今の社会情勢を考えると決して安易なものではないと思います。

総会では平成12年度事業計画・予算が承認され今はその運営に当たっています。また、大分県文化年鑑編集検討委員会設置が決定され、その内容の検討も始まりました。更に、県芸術祭が県民芸術文化祭に変革し、動き出した今、芸振の自主的な活動はどうあるべきかを考え、先年の組織検討委員会の後を受けた委員会を設置し、さらに、いろいろな角度から検討にとりかかりました。これからは出来ることから実施しなければと考えています。

成熟した芸振をより魅力的な会にするためには常に目標に向かって努力をされている皆さんの理解と協力を得なければなりません。昭和45年に施行した芸振の目的「この会は、芸術文化団体の自主的な活動の拡大促進を図るとともに、本県芸術文化の振興に寄与する」を再確認し、今年度議決された諸事業を皆さんと共に成し遂げ、大分県芸術文化振興会議が更に活力のある総合文化団体になるように願っています。



山崎芳直 (新潮流の会)

第2回 大分県民芸術文化祭



開幕行事

豊人の唄 (とよびとのうた)

大分県長唄協会

会長 芳村 伊久之介

私ども長唄協会は、平成8年に流派を超えて大分県全体の協会として発足いたしました。以来、第13回国民文化祭おおいの98での閉会式典を始め、大分県民芸術文化祭に参加するなどの活動を続けてまいりました。

さらに、今回は第2回県民芸術文化祭の開幕行事を担当することになり、身の引き締まる思いでお稽古に取り組んでおります。開幕行事としては、初めての長唄の演奏会です。「豊人の唄」と題し、開幕行事にふさわしいおめでたい曲「豊三番叟」、宇佐八幡宮を折り込んだ長唄の代表曲「教草吉原雀」などを盛り込み、風光明媚な豊の国大分県を長唄と三味線で表現いたしました。

今回は、長唄三味線の池之端宗家12代目杵屋六三郎師、唄方に杵屋秀子さん、三味線方の大分市出身、杵屋六治郎さんをお招きしております。堅田新十郎社中のお囃子も加わった華麗な演奏会を繰り広げたいと思っております。



10/8 音の泉ホール



中幕行事

大分県三曲協会定期演奏会第40回記念公演

大分県三曲協会

会長 後藤 碩山

このたび、県民芸術文化祭実行委員会より中幕行事の指定を受け、第40回定期演奏会を記念公演とし、10月29日12時より県立芸術会館において開催することとなりました。

伝統音楽である邦楽界においては、特に古典を重視する立場から、過去の第20回・第30回の記念公演では当時の古典演奏者の第一人者をそれぞれ招いています。

今回もまた、現在古典演奏者の第一人者とされる山田流箏曲「六代山勢松韻師」およびアメリカ人にして異国の音楽尺八の演奏家として活躍中の琴古流「クリストファ遼盟師」を招くことにしています。

構成としては定期演奏会として会員中11社中より提曲を受け、記念公演として、序曲に古典の代表曲「六段の調」、終曲に本県国民文化祭の際の委嘱作品「豊の国万葉詩曲」を据え、中間に特別出演者の曲を配しました。

会員一同、中幕に決定以来、記録的な猛暑にめげず鋭意練習を重ねて参りました。

何とぞ暖かい御支援をお願い申し上げます。



10/29 大分県立芸術会館

第2回 大分県民芸術文化祭

閉幕行事



大分マンドリンオーケストラ第14回定期演奏会

大分マンドリンオーケストラ

会長 宮 吉 寛

物質の豊かさと裏腹に心痛む事件が多発し、心の荒廃が憂慮される昨今、私共音楽に携わる者として何か社会的に意義のある演奏活動をとの発想から、今回の閉幕行事への取り組みとなりました。

演奏の中核をなすグノー作曲『聖チェチーリア荘厳ミサ曲』は比類のない美しい宗教音楽で、演奏する私どもは勿論、聴衆の皆様も深い宗教的感動と心の救いを体験される事でしょう。出演は私共の他、梅津百合子(S)、中村弘人(T)、宮本修(B)各氏をソリストに迎え、県下各地の団体・個人の合唱愛好者による混声合唱団180名、管・打楽器25名の皆様のご協力を得て、総勢250名による空前の大編成による演奏です。他に「美しく碧きドナウ/J・シュトラウス作曲」、九州の民謡を巧みに取り入れた「ファンタジア九州/藤掛廣幸作曲」もきっと楽しんで頂ける事と思います。つたない演奏ですが、多くの皆様のご来場を頂き、感動を共にできます事を念願しております。



11/23 グランシアタ

芸術文化フェスティバル主催行事

	行事名	期日	場所	団体名
開幕	豊人の唄(とよびとのうた)	10月8日(日) 11:00～16:00	大分県立総合文化センター 音の泉ホール	大分県長唄協会
中幕	大分県三曲協会定期演奏会 第40回記念公演	10月29日(日) 12:30～16:30	大分県立芸術会館	大分県三曲協会
閉幕	大分マンドリンオーケストラ 第14回定期演奏会	11月23日(木) 18:30～20:30	大分県立総合文化センター グランシアタ	大分マンドリン オーケストラ
共 催	第36回大分県美術展	9月26日(火) ～10月15日(日)	大分県立芸術会館	大分県美術協会
	演劇「しゃべくり婆さん」	10月6日(金) 18:30～20:30	大分県立芸術会館	大分県民演劇制作 協議会
	LIGHT MUSIC FESTIVAL'2000	10月9日(月) 18:30～	大分県立総合文化センター 音の泉ホール	大分県軽音楽連盟
	花開く大分文化の祭典	10月14日(土) 13:30～16:00	大分県立総合文化センター 音の泉ホール	大分県音楽団体 協議会
	第34回大分県俳句大会	10月26日(木) 10:00～16:00	大分市コンパルホール	大分県俳句連盟
	第32回大分県川柳大会	10月29日(日) 9:00～17:00	大分文化会館	大分県番傘川柳 連合会
	第37回大分県児童文化祭	11月19日(日) 10:00～11:50	はさま未来館	大分県児童文化 研究会
	第36回大分県短歌コンクール	11月19日(日) 10:00～15:00	大分文化会館	大分県歌人クラブ
	第31回関心流日本興道吟詩会 大分県本部全国吟剣詩舞道大会	11月19日(日) 9:30～17:00	大分労働福祉会館 ソレイユ	関心流日本興道 吟詩会大分県本部

新役員紹介



副会長 脇坂 秀樹

このたびの会長交代にともない副会長の要職に任命されました。挟間正年会長、仲町謙吉会長さんの下、団体代表として15年間理事を務めさせて頂きました。また県下文化団体の活動業績記録集「大分県文化年鑑」の執筆にも関与してまいりましたことなどから、民間自主団体（協議体）としてのあり方、あるべき姿を考えると、理事会の果たす役割がたいへん重要だと思っています。

事務局、常任理事会の現状を検証しつつ、手順を踏んだ、ひらかれた機能が生きいきと果たせる理事会を求め新会長を補佐できたらと思っています。会員の皆さん、よろしくお願いいたします。



常任理事 辛島 光義

過去30有余年に亘って大分県の芸術文化活動をリード、サポートしてきた芸術振興会議は今新たなステップのときを迎えています。

国民文化祭開催を契機に、事務局が文化振興課に移り、更なる充実を目指し、運営面での整理が図られたことは周知のとおりですが、さらに、組織運営でも検討が加えられ、原点に立ち返り自分たちの芸術文化活動のあり方を今一度考え直し、21世紀を展望した新しい芸術振興会議の姿の模索が続けられています。

今年の総会で、新たに常任理事を増やし組織と運営面での充実化が図られたことを念頭に、芸術振興会議の更なる発展を願って微力ではありますが、全力を尽くしたいと思います。



理事 猪俣 士郎（大分県傘川柳連合会）

私共は老人の多い会ですが、一昨年は国民文化祭、昨年は全九州大会を見事にやりとげました。いよいよ今世紀最期の年です。心の渇きを痛感する昨今、健康老人の生きがいとして豊かな文化生活を送ると共に、若がえりを図り、若い世代にいかにか心潤す川柳の心を橋渡しするか考えているところです。

この度理事に就任いたしました。微力ですが、新世紀の芸術文化の振興に費やしたいと存じます。



理事 日名子 金一郎（大分県美術協会）

高齢化社会を迎え、美術を愛好する人たちは増えてきています。いつでもだれでも作品を鑑賞したり発表できる場として、県立美術館の建設が待たれています。いま県美展の会場は倉庫か物置を思わせる展示の状況ですが、一日も早くこれを解消したいものです。

美術協会の一番大きな目的は会員一人ひとりの作品の質の向上です。このことが県美展を魅力あるものにします。これからも厳しいご批評をよろしくお願いいたします。



理事 渡邊 協 靈 (淡窓伝光霊流日本詩道会)

礼と節を行動の軌範とし、詩歌に親しんで情操を高め、日本民族の心を探求しながら、自己の陶冶を志向する吟剣詩舞道を通じて日本古来の芸能文化を21世紀へ伝え継ぐため微力を尽くして参りたいと思っております。

第2回大分県民芸術文化祭では参加行事として、傘下日田詩道会・挾間詩道会の発会30周年記念の吟剣詩舞道大会を開催します。

皆様のご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



理事 安 東 陽 (大分県民謡連盟)

一昨年の国民文化祭を契機に文化立県宣言がなされて以来、各芸術分野の活動は一段と熱を帯びてきたが、そうした中で県文化活動の指令塔ともいべき芸術文化振興会議に課せられた役割と県民の期待には大きいものがあります。

しかしこの巨大化した組織は（多分野を網羅しているという意味で）巨大がゆえに有機的な連帯感に乏しく、日常の活動にも県民芸術文化祭のような共催事業においても何処となくチグハグな印象を受けます。

我々日本民謡に携わる者も単なる懐古趣味の伝承音楽として閉じこもることなく、他ジャンルの文化と協力して世界に発信できる民族音楽としての道を模索して行きたいと思えます。



理事 今 井 義 人 (大分県立芸術会館)

平成3年度に事務局の一員として芸術に関わりをもって以来、再度のお付き合いになります。県民の生活や意識の多様化に伴い、人々の価値観は物の豊かさから、心の豊かさへと大きく変化しています。そのようななかで、芸術文化の振興が強く求められています。

「文化するけん、大分県」の背骨を支える芸術会議の更なる裾野の拡大と安定した運営のため微力ながら努力したいと思います。



事務局次長 久保木 眞 人

県下の芸術文化活動の発展と共に、芸術の規模も拡大し、それにふさわしい運営基盤の確立が、常に求められております。

新会長のもと、組織運営や年鑑編集における課題の検証が既に始まっておりますが、それらの作業に微力ながら役割を果たしたまいたいと存じます。



世界人形フェスティバルに参加して

長友幸子

2000年6月24日～7月2日、ドイツの中央部ザクセン・アンハルト州マクデブルグ市で開催された第18回ウニマ（国際人形劇連盟）世界大会、2000世界人形劇フェスティバルに、私達「人形劇団あいあい」のメンバー3名が参加してきました。このフェスティバルは世界中の人形劇団がプロ・アマを問わず、人形劇を通じて交流しようという目的で4年に1度持ちまわりで開催されているものです。

ミレニアムの今年、東西ドイツ統一から11年、ドレスデン大会からは16年ぶりに再びドイツで開催される今回の大会は画期的なことだったようです。世界30カ国以上から45劇団が招待され、その他オフプログラムで上演した劇団は25を数えました。世界各地からの参加者、子供と大人のためにたくさんの劇が上演され、マクデブルグ市内の27カ所の劇場・文化施設・街角・広場など、町中の至るところで最大に繰り上げられました。

フェスティバルのプログラム構成は人形劇の伝統の生きた実例を軸に現代劇のルーツと人形劇のつながりが強く感じられました。ドイツのグスタフ、チェコのフランティセク、インドのプラサナ・ロア、ロシアのオブラッツィオなど、高齢のためこの機会を逃したらもう見るができなかもしれない人形劇の大御所の演技に感動の連続でした。本でしか知識がなく、いつか会いたいと夢見ていた人形劇の原点ともいえるカスパーやパンチ。民衆の代弁者として体制権力を痛烈な風刺と鋭いジョークでへこませる伝説的なキャラクターです。マクデブルグではそのカスパーに会えました。「よい子のカスパー」に変身していましたが、私達の演じる吉四六さんに相通じるものがあるように感じたのは私だけだったでしょうか。

ウニマ本部横のテント劇場で演じた「吉四六さんのまさかそげんこつはありゃんすめえ」、ドイツ語で粗筋を話しておいたこともあり、子供達も大人も大変喜んでくれました。今回の一番の目的であった“交流”、出会った人達との交流に加え、自分達の演じた作品自身が観客に問われ、参加者の間で議論され、お互いに何かを得ていくという交流を体験した初めての海外フェスティバルでの公演でした。そして、私達同様マクデブルグの人々にもこのフェスティバルについて、これから何年も何十年も語りつづけてほしいという想いが自分への「お土産」になりました。

世界に吉四六さんをアピールできたこと。私のカスパーに会わせていただいたこと。私達のようなアマチュアの小さな人形劇団にこんな素晴らしい貴重な時間を与えてくださったことに感謝します。



展示されたさまざまな人形たち

人形制作者の人と





大分市民吹奏楽団 団長 尾方 英二

大分市民吹奏楽団は約30年前に発足し、5年前よりコンクール主体であった活動を訪問演奏を中心としたものに変更し、「初心者から皆が楽しく」を目標に活動しています。

団員は高校生から30代で、様々な仕事（学生）をしている約30人の音楽好きの集まりです。活動はJR大分駅での鉄道の日コンサート、地区のお祭りでの演奏、老人保健施設・児童養護施設への訪問演奏等を行っています。普段は月曜と木曜の週2回の練習、本番の回数と同じくらいの様々なレクリエーションもあり、演奏以外にも楽しんでいます。

また、常時団員募集を行っていますので、楽器をしていた方や楽器を眠らせている方で私たちと吹奏楽を楽しみたい方はぜひ連絡をください。市民吹奏楽団なら、レベルを問わず大歓迎です。



大分県太鼓連合会 会長 河野 正治

大分県太鼓連合会は結成以来、1年に1回のチャリティーコンサートを実施してきました。会員の親睦と技術の向上、更には子供会員が多いため健全育成を図ることも重要な目標となっています。

現在会員は13グループ、190人で活動しています。県内にはまだたくさんの方の太鼓グループがあり、多くのグループに入会してもらい、私達といっしょに太鼓の演奏したり、たまにはお酒を飲んだりしてみたいと願っています。

今年は11月5日に佐伯市文化会館で、第3回大分県ジュニア太鼓コンクールとチャリティーコンサートを実施します。子供達のグループなら参加できますので、是非参加してください。尚、優勝すれば（財）日本太鼓連盟主催の全国大会に出場することができます。第1回の大会は別府市のはまわき太鼓、第2回は湯布院町の源流少年隊が出場し、上位入選しました。

地域の活性化のために、少しでも役に立つことができれば、と日夜練習に励んでします。



事務局だより

平成13年度事業計画書の提出は10月末まで

平成13年度大分県芸術文化基金事業費補助金交付計画書・芸術文化基金事業公演希望調査表・大分県芸術文化基金海外派遣候補者推薦書の提出期限は10月末です。

また、今回同封の平成13年度第3回大分県民芸術文化祭芸術文化フェスティバル行事の開催希望調査についても10月末が提出期限となっています。

毎年遅れ気味になっていますので、期限内に提出してください。

新 会 員 紹 介

■個人会員

氏名	住所	電話番号	推薦者
久保木 眞人	大分県大分市大字町	097-532-0310	協阪 秀樹

平成12年度 芸振役員・事務局員名簿

■役員

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
顧問	挾 間 正 年		理事 (団体代表)	平 松 茂 男	大分県歌人クラブ
	河 野 彰			猪 俣 士 郎	県傘川柳連合会
	仲 町 謙 吉			牧 秦 濤	県美協(書)
	野 崎 哲			河 野 公 記	県美協(写)
特別会員	菅 久			日 名 子 金 一 郎	県美協(日)
	大 崎 聡 明			山 本 勝 彦	県音楽協会
	尾 登 一 信			恵 藤 美 紀	県民オペラ協会
	木 村 成 敏			後 藤 碩 山	県三曲協会
	宮 瀬 香 多 士			上 田 耕 作	県軽音楽連
会 長	脇 正 人			糸 永 信 義	県吹奏楽連盟
副 会 長	中 沢 と お る			渡 邊 協 霊	日本詩道会
	小 長 久 子			安 東 陽	大分県民謡連盟
	秋 月 陸 男			挾 間 文 男	県合唱連盟
	脇 坂 秀 樹			花 柳 笹 之 丞	県日本舞踊連
監 事	首 藤 悦 爾		伊 坂 香 里	県民踊連盟	
	麻 生 和 江		佐 藤 朱 音	おおいた洋舞連盟	
常任理事	十 時 良		清 末 典 子	県民演劇	
	倉 田 紘 文		富 成 碩 甫	県高文連	
	中 野 幸 和		佐 々 木 均 太 郎	別府大学教授	
	辛 島 光 義		狭 間 久	大分合同新聞	
			豊 田 寛 二	大分大学教授	
			理 事 (関連行政機関)	安 部 信 孝	大分市教委
				今 井 義 人	県芸術会館

■事務局

役職名	氏名	団体名	役職名	氏名	団体名
事務局長	矢 野 嘉 昭	文化振興課長	事務局	池 田 リ エ	事務局職員
事務局次長	久 保 隆	文化振興課課長補佐		江 藤 光 一	文化振興課課長補佐
	久保木 眞人	大分県美術協会		朝 倉 泰 三	文化振興課主査